

協会ニュース

一般社団法人広島県精神保健福祉協会

平成 26 年 9 月発行

Vol. 35

第 39 回日本精神科看護学術集会 in 広島

一般社団法人広島県精神保健福祉協会 理事 中川惣一



第 39 回日本精神科看護学術集会 in 広島が 2014 年 6 月 6 日から 8 日まで 3 日間、広島国際会議場で盛大に開催されました。開会式典には、一般社団法人広島県精神保健福祉協会副会長・津久江一郎先生のご臨席を賜り厚くお礼申し上げます。さて、我々の所属する協会は昭和 51 年（1976 年）に社団法人日本精神科看護技術協会としてスタートしました。社団法人化した第 1 回の記念大会が、当時の広島市公会堂で行われ、平和記念公園内には記念樹としてクロガネモチが植樹され、現在も

秋には赤い実をつけています。

2014 年 4 月から新たに一般社団法人日本精神科看護協会として生まれ変わりました。全国の会員数は 37,110 名でそのうち広島県支部の会員数は 1,895 名です。会員の殆どが精神科病院で勤務する看護師ですが、広島県支部としては年間 14 回の研修会で専門的な知識や精神科看護のスキル向上に寄与しています。また、毎年 7 月の第 1 土曜日に広島駅前広場で開催している「こころの日のイベント」では、地域の作業所と連携し作品の展示販売や

ミニライブで広島県民に精神障がい者の理解やこころの健康についてアピールしています。

さて、大会3日間では全国から、会員・非会員を合わせると1,503名の参加があり、近年では最高の参加者数となりました。各フロアでは284題の精神科看護研究発表と53題の業務改善発表等が行われ、全国各地から集った会員の活発な意見交換で会員個々のスキルアップにつながりました。また、23の企画セミナーや交流会では会員間の交流が行われ、それぞれの抱えている問題等が話し合われていました。日精看広島県支部では、県下の精神科病院等から派遣していただいた、約60名の運営委員が相互に協力し合い、スムーズな大会運営を実施していただきました。

今大会では広島ならではの歴史や特徴を紹介する企画が計画されました。私が担当したオフ会では「湯の山温泉」を紹介することになりました。インターネットで調べてみると、近代日本精神医療史研究会が、特集 湯治場 湯の山〔広島県〕として、精神疾患の湯治場の歴史が紹介されていました。内容の一部を紹介します。「昭和20年代には、銀水館、小田旅館、金水館、森井旅館、太古荘、湯の山荘の6軒の旅館があり、精神病者を多く泊めていた。呉方面から来る精神病者が多く、1週間から10日間くらい滞在した。

多くの客が宿泊するので忙しく、こちらから病者に話しかけることは少なかったが、来た時よりも良くなって帰る人をたくさん見たという。「打たせ湯」に関する記憶は次のようなものである。患者には付添い人が同行していた。患者1人に、付き添いが3人から5人も来ていたこともあった。付添い人は、田植えに着る蓑をつけて、「打たせ湯」の介助をしていた。」

私は非常に興味を持ち、今年の5月に湯の山温泉を尋ねてみました。石畳の坂道をあがると当時の建物が残っており、精神障がい者の湯治場としての雰囲気を感じることが出来ました。現在では「クワハウス湯の山」が管理され、土日には家族連れで賑わっていました。機会があれば湯の山温泉を尋ねてみて下さい。

おわりに、日精看広島県支部としては、今大会の経験から得られた学びをいかし、広島県精神保健福祉協会に協力していく所存です。精神障害・精神疾患があっても地域で安心して暮らせる社会を目指すと共に、広島県民の更なる精神保健福祉の向上に少しでも寄与できれば幸甚です。今大会が盛会裡に開催できましたことに感謝申し上げます。報告とさせていただきます。

研修会報告

平成25年度広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ



開催日：平成26年1月11日（土）

講演テーマ：「ADHDのある子の理解と対応：学校での対応と医療との連携を考える」

講師：岡田俊先生

（名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科）

会場：安芸民文化センター

平成26年度地域社会交流促進研修会



開催日：平成26年3月10日（月）

講演テーマ：「うつ病求職者への復職支援と再発予防」

講師：鎗田 圭一郎先生

（鎗田労働衛生コンサルタント事務所所長）

会場：瀬野川病院

参加者数：100名

平成26年度地域精神保健研修会及びひきこもり支援研修会



開催日：平成26年6月20日（金）

講演テーマ：「ひきこもり若者のやる気を引き出す
認知行動療法」

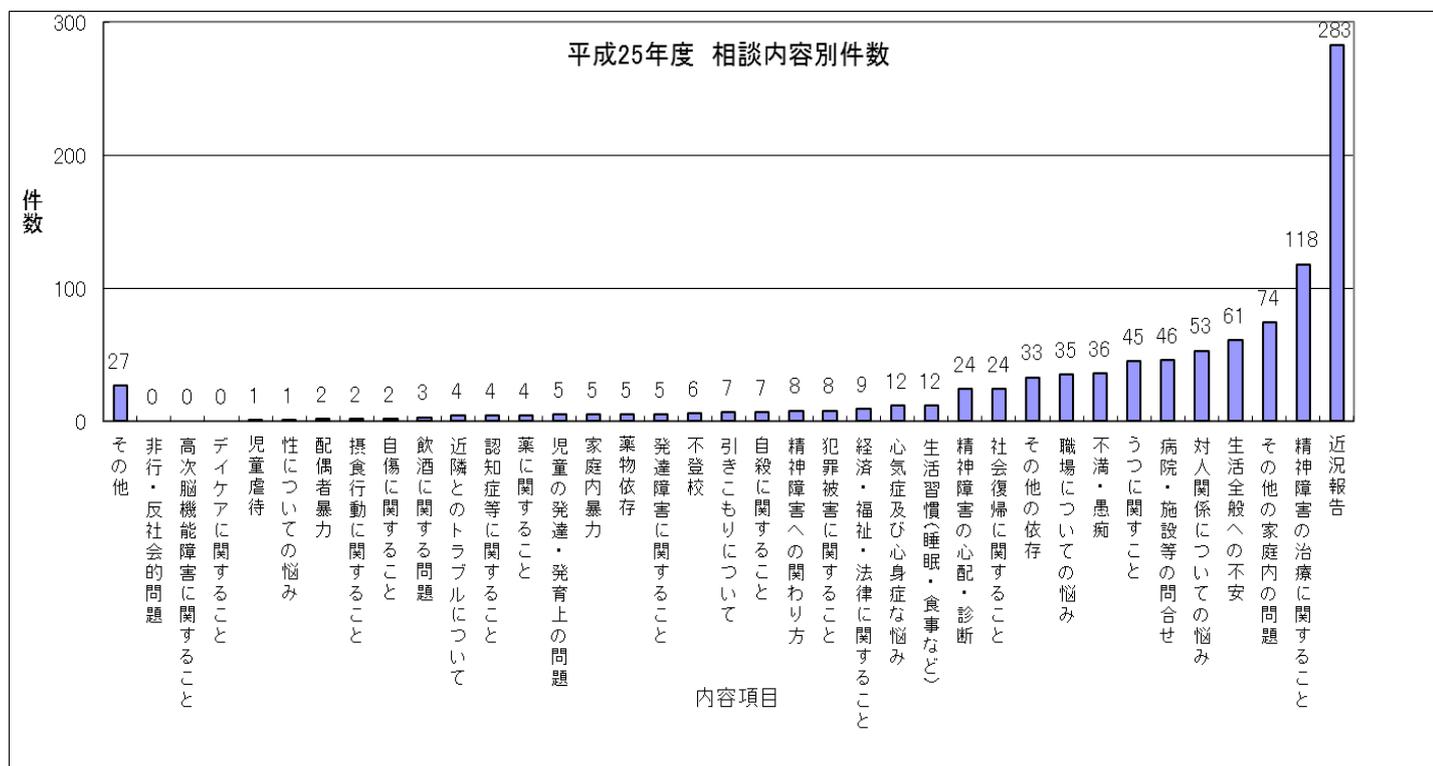
講師：境 泉洋先生（徳島大学大学院ソシオ・
アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授）

会場：シェラトンホテル広島

参加者数：99名

こころの電話

当協会は、精神保健相談指導事業として「こころの電話」相談（電話相談Tel082-892-9090）をおこなっております。相談員が月・水・金曜日の週3日9:00～12:00、13:00～16:30の時間帯で対応しています。また、第2・第4金曜日には医師相談の体制も整えております。平成25年度の相談状況を下記に掲載しております。平成25年度の相談件数は、年間971件で、1日平均6.7件でした。相談内容ですが、近況報告に関するものが283件と最も多く、続いて精神障害の治療に関するものが118件、その他の家庭内の問題や生活全般への不安が多い傾向にあります。また、これらの相談は、本人からの相談が93%と多い傾向にあります。



広島ひきこもり相談支援センター

広島ひきこもり相談支援センターでは、県内にお住まいで、概ね18歳以上の方の社会参加や自立のお手伝いをします。相談内容に応じて他の適切な関係機関とつながるように支援します。相談は無料です。面接相談は予約が必要です。平成25年度の相談件数は電話、面接、メール、訪問相談の県全体の合計は3660件でした。

	西部	中部・北部	東部
所在地	広島市西区楠木町1丁目8-11	広島市安芸区中野東4丁目5-25-2F (Seno リバービレッジ内)	三原市小泉町4245
開所時間	月・水・木・金・土 9:00～18:00 (祝日を除く)	月・水・木・金・土 8:45～16:45 (祝日を除く)	火・金 9:00～17:00 (祝日を除く)
電話番号	082-942-3161	082-893-5242	0848-66-0367
E-Mail	soudan@qq.pref.hiroshima.jp		
URL	http://cross-hiroshima.com/index.php/center	http://ww4.enjoy.ne.jp/~h-mha/index2.html	http://jinkokai.jp/koizumi/
担当地区市(区)、町名	広島市(安芸区を除く)、大竹市、廿日市市	広島市安芸区、呉市、竹原市、三次市、庄原市、東広島市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町	三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町

平成25年度こころいきいきフェスタについて

坂町町 平成25年12月1日（日） 坂町町民センター

講演会 「ストレスとは～その理解と対応方法40法～」 講師 中村 道彦氏 参加者 115人



安芸太田町 平成25年12月14日（土） 川・森・文化・交流センター

講演会 「障害を乗り越えて パラリンピックへの挑戦」 講師 別所 キミエ氏

演奏 加計小学校ファンファーレバンド 参加者 220人



平成26年度一般社団法人広島県精神保健福祉協会長表彰受賞者

【精神保健活動功労者】 (敬称略・50音順)

織田 一 衛	医療法人社団若恒会理事長 兼 ふたば病院 院長
佐々木 高伸	佐々木メンタルクリニック 院長
長尾 正 嗣	医療法人緑風会ほうゆう病院 院長
藤原 富 江	ともえ家族会
松田 信 子	特定医療法人仁康会 小泉病院 看護師
森岡 壯 充	森岡神経内科 院長

【精神保健活動優良団体】

佐伯区精神保健福祉家族会 つむぎ会
社会福祉法人桜虹会
特定非営利活動法人 WIND えのみや

DVD・プロジェクター等無償貸出し

「こころの病気～現代社会を生き抜くために～」
 「働きざかりの精神衛生～ストレスをのりこえる～」
 「150万人の訴え～精神障害者・その人権と差別」
 「ある湖畔より ある地域精神保健福祉の歩み」
 「本人・家族のための統合失調症講座」
 「ACT は地域精神医療を変えるか」
 「アルコール依存 回復プロセスと再発予防」
 「もうひとつの人生」(アルコール依存)
 「アルコールの害～未成年者の飲酒～」
 「アルコール依存症」
 「回復への道」(薬物依存)
 「薬物依存」孤独そして絶望からの脱出」
 「人間やめますか?～魔の覚せい剤～」
 「シンナー～心と身体をむしばむもの～」
 「巣立ち～社会復帰の実践～」
 「大富士方式～社会参加への羽ばたき～」
 「虐待を防ぐために」
 「働くことが困難な若者を社会的に支援するためには」
 「DVD で学ぶ新しい SST」
 「DVD で学ぶ新しい SST・事例集」

「Beck & Beck の認知行動療法ライブセッション」
 「EBP 実践・普及ツールキット」
 「服薬自己管理モジュール」
 「精神障害を持つ人の退院準備プログラム」
 「親と教師のための自閉症の子どもの評価」
 「わかるできる!親と教師のための自閉症の子どもの自立」
 「発達障害の理解と支援～わかり合うって素敵だね!～」
 「老年期をどう生きるか～心の健康～」
 「認知症のケア」
 「てんかん発作と介助」
 「医療職のための包括的暴力防止プログラム」
 「子どものうつ病」
 「自律訓練法のすすめ方」
 「青年期、成人期の発達障害者支援」
 「出所後の道しるべ～薬物を使わない新たな人生に向かって」
 「WRAP—その魂にふれる」
 「生きていくってしんどいねえ～ひとりじゃないよ～」



受賞おめでとうございます



※ 貸し出しは協会員の方に限ります。ぜひこの機会にご入会ください。

継続事業1 精神保健福祉相談事業

ア こころの電話相談委託事業

県民からの精神的な相談を受け、助言や適切な機関の案内をおこなう

イ 内閣府 こころの健康相談統一ダイヤル事業

広島県内からこころの健康相談統一ダイヤルに入電される相談を転送して受け付ける

ウ 広島ひきこもり相談支援センター事業

ひきこもり本人、家族からの電話、来所、訪問などを実施し、適切な関係機関につなげる

エ 不眠相談電話事業

県民からの不眠についての相談を受け助言や適切な機関の案内をおこなう

継続事業2 精神保健福祉普及啓発研修事業

ア 一般社団法人広島県精神福祉協会会長表彰

精神保健福祉事業に功績のあった個人、団体に対して表彰をおこなう。表彰式は平成27年6月を予定

イ 協会ニュースの発行

ウ 地域交流支援

精神保健福祉に関連する活動している団体のうち選考により3団体について各¥50,000-を助成する。広島県内の行政機関に推薦を依頼。選考委員により、資金助成の必要性、自主性、社会性などの選考基準から助成団体を決定

エ 地域社会交流促進研修会

精神障害者社会復帰施設等において援助を行っている職種の方を対象に、精神障害を有する人の社会復帰について、シンポジウムもしくは講演会を年に1回開催。平成27年3月を予定

オ 地域精神保健研修会及びひきこもり支援研修会：平成26年6月に実施済み

カ 地域精神保健活動推進事業

精神保健福祉活動を実施している県内の断酒会、精神保健福祉家族連合会、認知症の人と家族の会、各団体に¥50,000-を助成する

その他の事業1

ア 広島県児童思春期精神保健事例検討ワークショップ事業

児童思春期に関連する精神的問題について、講演会や事例検討を年に1回開催。平成27年2月を予定

会費納入について

平成26年度会費をまだ納入いただいていない会員の方は、下記の銀行へお振込みください。郵便振込を希望される方は事務局までお問合せください。

口座名義 一般社団法人広島県精神保健福祉協会 会長 山脇成人
口座番号 広島銀行 矢野支店 普通口座 3051493

個人会員：1,000円

団体会員：5,000円 7,000円 8,000円

特別会員：18,000円

移動があったら

事務局から会員に皆様にお送りする郵便が宛先不明で返送されることがあります。氏名、住所、所属などに移動がありましたら事務局までご連絡ください。

不眠相談電話の開設について

当協会では広島県からの委託を受けて、フリーダイヤルの不眠電話相談窓口を開設することになりました。疲れているのに眠れない、夜中に目を覚ましてしまう、朝早く目覚めてしまう等、睡眠に関する相談をおこなっております。電話番号、開設時間は以下の通りです。

《フリーダイヤル 不眠電話相談》



0120-230-103

【時間】 (土、日、祝日を除く) 月曜日 9時～13時, 火曜日～金曜日 13時～17時

一般社団法人広島県精神保健福祉協会

〒739-0323 広島市安芸区中野東 4-11-13 瀬野川病院内 TEL 082-893-6242 FAX 082-893-6243

URL : <http://ww4.enjoy.ne.jp/~h-mha/> E-mail : h-mha@do4.enjoy.ne.jp

